



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 5

令和4年9月7日

校長 広見 理恵

変わりゆくものと変わらないもの



二学期が始まりました。玄関ですれ違う子どもたちの身長がぐんと伸びていることに気づきます。私たち大人にとっては「繰り返す一日」でも、子どもたちにとっては「伸びゆく一日」「変わりゆく一日」であることを実感させられます。

さて、二学期と言えば行事がある時期。まずは運動会です。令和2年・3年と2年間続いた「安宅ザ☆スポーツ」から、今年度は「安宅小運動会」の名称を復活させ、保護者の皆様にもご参観いただく予定です。従来の「運動会」と過去2年間の「安宅ザ☆スポーツ」の良さを融合した新たな「安宅小運動会」を子どもたちと創り上げていければと考えています。（詳しくは7日配布の「運動会について」のお便りと後日配布される「運動会プログラム」をご確認ください。）

何より大切なのは子供たちの姿と心です。過去2年間の6年生も、できることを最大限に活かして、よりよい「安宅ザ☆スポーツ」にするための最善の努力を尽くしてくれました。誇るべき最高学年としての姿だったと感謝しています。「変わりゆくもの」（=環境）の中で、「変わらないもの」とは、いついかなる時代であっても「子どもたちの全力の姿と心の美しさ」にあるのだと、この2年間の「あたスポ」は教えてくれました。

さあ、今年2022年の「安宅小運動会」では子どもたちのどんな姿が見られるのでしょうか。最高学年である6年生を中心に、安宅小290名の子どもたちの全力の姿と、輝く心が見られる、熱い運動会になることを願っています。



「1982戌亥会」十一名の皆様から、「金拾萬圓」のご寄付をいただきました。ありがとうございます。子どもたちのために使わせていただきます。



9月7日(水)から、「運動会特別時間割」が始まります。ほぼ毎日運動会練習が予定されていますので、体操服・赤白帽子(ゴムの確認をお願いします)・タオル・水筒等、準備をお願いいたします。感染対策を取りつつ、子どもたちにとって充実した運動会になるよう、配慮していきたいと思っておりますので、ご協力の程、お願いいたします。

令和4年度 安宅小学校運動会スローガン
「一輪団協」 ～光輝け! 自分の一步先へ～



今年の「安宅小運動会スローガン」が決まりました。運営委員が話し合いを重ねて決めたスローガンです。スローガンを校長室に直接伝えに来てくれた運営委員の皆さんから、今年のスローガンに込めた思いを聞きました。

- 「一輪」とは . . . 一つの輪になって（児童会目標の「輪になって」とも連動）
「団協」とは . . . 団結・協力する（290人が一つのチームとして助け合う）
「光輝け」とは . . . あきらめないこと・一人一人が全力を尽くすこと
「自分の一步先へ」 . . . 目標に向かって、自分から一步 踏み出せるように

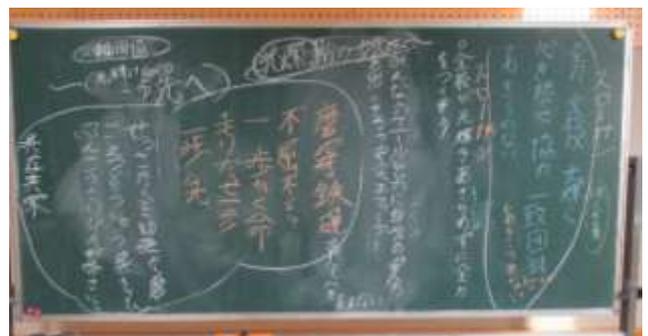
という意味が込められているようで、「一輪団協」（いちわだんきょう）とは、今年の運営委員が造った造語だそうです。

安宅小のスローガンは、その年その年の子どもたちの思いが込められていて、毎年心から感心しているのですが、今年も本当に意義のあるスローガンになりました。このスローガンの実現に向けて、6年生を中心に、目標である「光輝く姿とは?」「自分の一步先の姿とは?」などの具体的なイメージを、290人一人一人が明確にもち、その目標に向かって「一輪団協」して取り組んでほしいと思います。

また今年初めて「結団式」を行う予定です。運営委員がスローガンに込めた思いを発表し、赤白各団団長・副団長から、それぞれ応援にかける思いが伝えられる予定です。（結団式の様子や運動会練習の様子は、今後の学校だより「なぎさ」でお知らせしますね）

6年生も、応援について熱心に打ち合わせたり、組体操のダンスの振り付けも自分たちで考えるなど、さっそく最高学年としての準備を進めてくれています。

安宅小の熱い暑い日々が始まります。保護者の皆様も、お子様の体調管理等のご協力をお願いいたします。



児童会室にあった黒板です。運営委員の皆さんがこのスローガンを決めるまでに思いを込めて話し合った過程が伝わりますね。